

G&G ARMAMENT

<http://guay2.com>

台湾トップブランドG&G。社長は完全なビジネスマンである。トイガンが世界で何を求めているのかをよく理解し、堅実に製品を開発し世に送り出している。まず驚かされるのがその規模だ。首都台北から新幹線で1時間ほど南下した台中。その駅に迎えに来てくれた社長令嬢はその工場近くに来ると「ココからうちの工場です」と説明してくれた。ここがではなく「ここから」というのが味噌である。成長を続けるG&G社は現在工場を増設中で半年後には更に倍の大きさになるという。エアガンだけを製造している会社であることを忘れないでほしい。

さて、このG&Gの新製品では、今までありそうでなかったMP5。これは一見今までのモデルと大差ないが実はハンドガードがそのまま充電バッテリーになっているのだ。ハンドガードを外して専用充電器にセットして充電し、終わればワンタッチで銃に取り付ける専用バッテリーだ。それには最新のリポバッテリーを使用している。ユーザーの要望から生まれたF2000などの独自のラインアップ。G&Gはこれだけ規模の大きなメーカーでありながら2000挺以上のオーダーがあればカタログ以外のラインアップも作ることができるそうだ。また、マグプルのようなニュージェネレーションのスタイルを持つG&GオリジナルデザインのM4。ストックやハンドガードのデザインを独自のものとする。そこにはライトやレーザーなどが埋め込まれているなど、アイデアも盛り込まれている。そしてなにより、頬付けた時の感触を良くするためのパッドの素材選びなど、製品の質の高さは単に奇をてらったちゃんなものではなく、綿密に考えられている。下手すればリアルガンにフィードバックすることさえありうる高さだ。

G&G社は最近はやりのガスブローバック(GBB)に飛びつくこともなくG&Gの道を行く。ヨーロッパ、アメリカ、アジアとそれぞれにマーケティングマネージャーを持ち世界戦略に隙がない。実績のイベントにも大々的にブースを持って進出している。それだけでなくこの社長は台湾の各エアガンメーカーの社長を誘って友好を深めるために食事会などを開き、これを成功させている。いわばこの社長の率いるG&Gはいま、台湾のトイガンビジネスを引っ張るドンなのだ。



FEMME FATALE 16

オリジナルM4を手にする台湾のカリスマ社長。原社長とそご令嬢。原社長は日本の精神を受け継ぎ、お嬢様は大阪に留学して日本語にも堪能だ



ハンドガードにはLEDが内蔵されている。回転させることで収納もできる。ライトを新たに購入する必要もない



ちょっと画面ではわかりにくいかもしれないがレーザーも内蔵。バッテリーもハンドガード内にある。今後トイガンメーカーのカスタムが実銃にフィードバックされていく可能性を垣間見た気がする



M4の現在のトレンドを取り入れつつ、G&G独自の経験から各所にオリジナルデザインのパーツを配置したものになっている



マガジンにもフィンガーレストが施されたオリジナルデザイン。チークピースと同じ素材で握り心地もよい



何の変哲もないMP5が新製品だという...



ところがハンドガードを外すと、それ自体がバッテリーになっている!今までありそうでなかったアイデアだ



拡大中の工場の中へ...



スウェーデンAK5まである?小ロットのオーダーにも対応できるG&Gの柔軟性が見て取れる



専用充電器で充電する。リポバッテリーを採用し、そのパワーと持続力は十分である



北米向けの低価格商品であっても全てテストを行う。クオリティコントロールは厳密に行われ、初期不良を徹底的に減らしているというわけだ



工作に女性を多く採用し始めたのもこのG&Gだ。女性の繊やかな作業は、精密機械のようなトイガンの組み立てには不可欠と見たのだろう